

2025 年 6 月 10 日

長野県知事 様

2025 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画書を提出します。

協定期間	2025年度	
会 社 名	畑八開発株式会社	
住 所	〒384-0701 長野県南佐久郡佐久穂町畑329	
代 表 者 名	代表取締役 笹崎 俊一	
業 種	建設業	
処 理 施 設	施設名	所在地
所 在 地 (処理施設を有する場合)	畑八プラント	南佐久郡佐久穂町畑288
	リサイクルプラント	南佐久郡佐久穂町八郡3226
担 当 部 署	総務部	
担 当 者 名	石川 務	
連 絡 先	T E L	0267-88-2501
	F A X	0267-88-2665
	電子メールアドレス	t_ishikawa@hatayanet.co.jp
ホームページアドレス	http://www.hatayanet.co.jp	

1 産業廃棄物 3 R 実践方針

産業廃棄物発生の抑制を最重点項目としている。工事の受注件数や内容によって、その年度の産業廃棄物の発生量は大きく変動する。

コンクリート・アスファルト・木材・その他の産業廃棄物等、種別ごとに分別し適切に処理をすることによってリサイクル率が向上するよう社員の意識向上を図る。

施工前に現場ごと産業廃棄物処理の方法と手順について計画を立て、その手順を遵守させるため適宜に教育を行う。また、搬出業者、運搬業者、処理業者が判るよう、産業廃棄物処理の仕組みを現場ごとに掲示板へ明示し、近隣住民や関係者各位へ判るようにし信頼確保に努める。

2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

	2025 年度目標値	2024 年度実績値	2023 年度実績値	2022 年度実績値
総排出量の推移 (t・kg・m ³)	4,855.00	4,975.05	3,713.71	5,365.49
リサイクル量の推移 (t・kg・m ³)	4,765.00	4,812.32	3,690.15	5,335.09
売上高の推移 (円)	4,000,000,000	4,130,895,017	4,047,063,424	4,073,692,000

3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

- ・産業廃棄物についての統括管理責任者を配置することにより適切な管理体制の構築に取り組む。
 - ・現場ごとに産業廃棄物の搬出業者、運搬業者、処理業者が分かる仕組みを掲示板へ明示しすることにより、近隣住民や関連者各位へ情報を公開する。
 - ・年一回、処理の実施状況を産業廃棄物処理施設の地域の方々へ公開する。
 - ・委託する処理業者への現地確認は、代理人が処理場へ行き確認する。
- 最終処分場については部門長が年 1 回処理場へ出向き、現地で処理の状況と方法について確認する。
- ・月例会議を通じて産業廃棄物処理の方法や手順について学ぶと共に、事例などを用いて法令順守についての意識向上を図る。
 - ・リサイクル促進のための取組として、計画段階で設計書との差異がないか照査し、事前に誤発注を防止するように努める。納入業者へは必要最低限の梱包をするよう働きかけ廃棄物排出量を抑制する。また、少量の産業廃棄物でも現場で分別を行い、リサイクル率の向上に努める。
 - ・不適正処理に対して、日ごろ注意を払うよう社員へ周知する。不適正と認められる処理現場を発見した場合は、関係機関へ情報を提供し、協力体制を整える。
 - ・自社処理廃棄物は、マニフェストに準じた廃棄物管理票を作成し、処理量や最終処分量の確認を行う。
 - ・産業廃棄物の発生を抑制するため、工法変更やリサイクル製品への変更協議の提案を行う。また、産業廃棄物量が減少する工法や処理の方法について情報収集を行い、発注者へ働きかける。

以下の観点も参考としていただいで構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・産業廃棄物処理責任者等
- ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
- ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合）
- ・処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画
- ・従業員教育（研修）計画
- ・リサイクル促進に向けた取組（計画段階、実施段階での工夫など）
- ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
- ・不適正処理を発見した場合の協力体制
- ・自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合）
- ・独自に取り組む事項

代替素材への転換（化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと）、環境認証制度等の取得（環境 ISO 14001、エコアクション 21 等）、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等。

4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値	過年度実績値		
	2025年度 目標値	2024 年度 実績値	2023 年度 実績値	2022 年度 実績値
砕石(路盤・埋戻)	85.0%	89.4%	81.3%	87.4%
合材	95.0%	100.0%	99.5%	87.9%
その他の資材 (歩車道境界ブロック)	－	100%	100%	100%
全 体	90.0%	96.4%	93.6%	91.7%